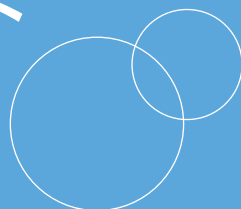


ビジネスプロジェクター EB-710UT

かんたん操作ガイド

本書では、以下を説明しています。

- ・ 本機を使って投写するまでの基本操作
- ・ 映像の投写に関するトラブルの対処方法
- ・ インタラクティブ機能の概要



同梱品 2

投写する 3

インタラクティブ機能を使う 5

困ったときに 10

お問い合わせ先 20



本機には以下のマニュアルが添付されています。

本機を安全に正しくお使いいただくために、マニュアルをよくお読みください。

PDF

・ 取扱説明書

- ・ Epson iProjection 操作ガイド (Windows/Mac)
- ・ Easy Interactive Tools 操作ガイド



■ 同梱の Document CD-ROM



■ エプソンのホームページ

<http://www.epson.jp/support/projector/>

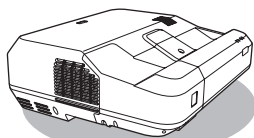
お使いのプロジェクターの型番を選んで
マニュアルをダウンロードしてください。

冊子 (紙)

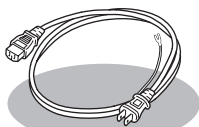
- ・ 安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内
- ・ かんたん操作ガイド (本書)
- ・ 設置工事説明書

同梱品

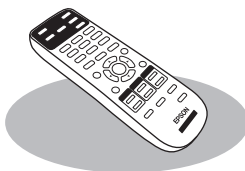
プロジェクター本体



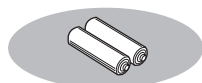
電源コード
(日本国内専用) 約 4.5m



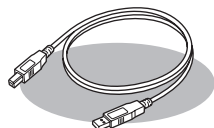
リモコン



単 3 形マンガン電池
(リモコン用)



USB ケーブル
約 5m



EPSON Projector Software



[収録ソフトウェア]
Epson iProjection
(Windows/Mac)

EPSON Projector Software
for Easy Interactive Function



[収録ソフトウェア]
Easy Interactive Tools
Easy Interactive Driver

PenPlus
for EPSON 電子黒板 CD-ROM



[収録ソフトウェア]
PenPlus for EPSON 電子黒板

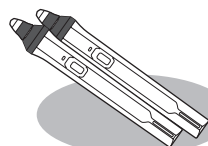
パスワード
プロテクトシール



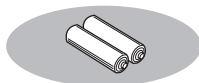
・お客様情報
+ 正式保証書発行カード
・返信用封筒



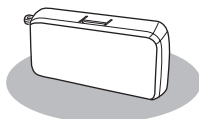
インタラクティブペン
(2 本)



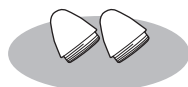
単 3 形マンガン電池
(インタラクティブペン用)



ペントレイ



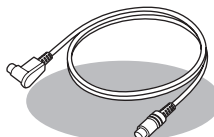
交換用ハードペン先
(2 個)



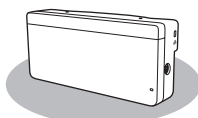
交換用ソフトペン先
(4 個)



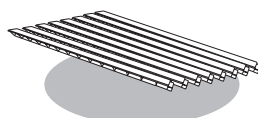
タッチユニット接続ケーブル
約 2.8m



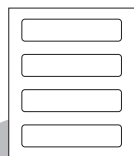
タッチユニット



赤外線ディフレクター
約 28.5cm (8 本)



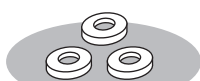
目印ラベル



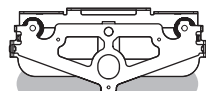
マーカー固定用
テープ 6cm



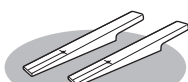
ネジ止め用スペーサー
3 個



タッチユニット
取り付け金具



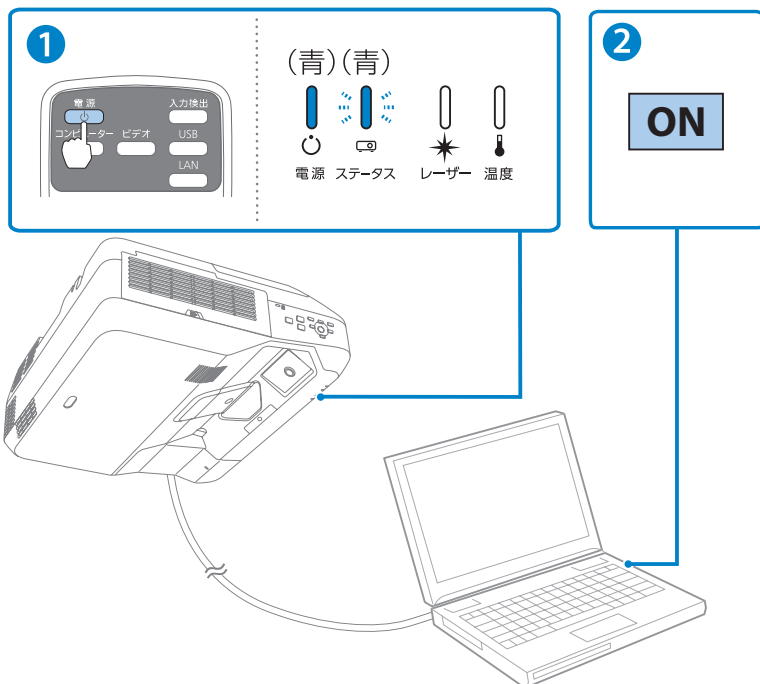
マーカー
(2 個)



投写する

本機から映像を投写する

USB ケーブルまたはコンピューターケーブルを使って、コンピューターの映像を投写する手順を説明します。



- 1 リモコンの電源ボタン【】を押して、本機の電源を入れます。**
「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケーター()が青色に点滅します(ウォームアップ状態)。
ウォームアップが終わると、ステータスインジケーター()が青色に点灯します。
- 2 コンピューターの電源を入れます。**
コンピューターの電源が入ったら、お使いのケーブルに応じて必要な作業を行います。

⚠ 警告

投写中はレンズをのぞかないでください。

⚠ 注意

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ USB ケーブルをお使いの場合

インタラクティブ機能を使う場合は、[拡張設定] メニューで [USB Type B] を [USB Display/Easy Interactive Function] に設定します。

初めて接続するときは、コンピューターの画面に表示される指示に従いドライバーをインストールします。

2 回目以降に接続すると、自動的に映像が投写されます。

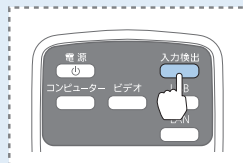
■ コンピューターケーブルをお使いの場合

コンピューターの画面出力先を切り替えます。

コンピューターの Fn キー（ファンクションキー）を押したまま、 キー（外部モニターを表すアイコン）を押します。

参考

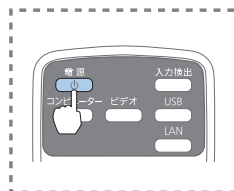
- ・映像が写らないときは、リモコンの【入力検出】ボタンを押してください。



本機の電源を切る

投写を終了するときは、リモコンの電源ボタン【】を 2 回押して本機の電源を切ります。

「ピッピッ」と確認音が 2 回鳴った後、ステータスインジケーター（）が消灯します。

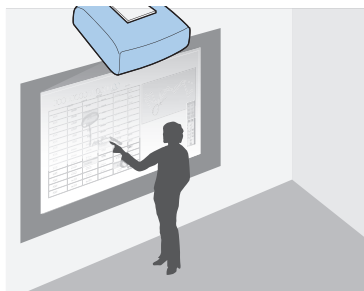


参考

- ・投写している状態のまま、電源コードをコンセントから抜いて電源を切ることもできます（ダイレクトシャットダウン機能）。
- ・電源を切ったあとは、クールダウンせずにすぐ片付けられます。

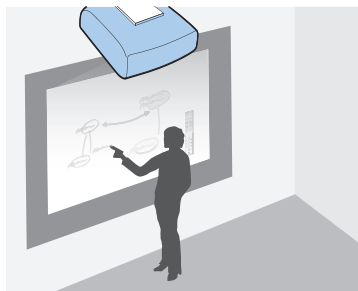
インタラクティブ機能を使う

インタラクティブ機能では、3つのモードが使えます。



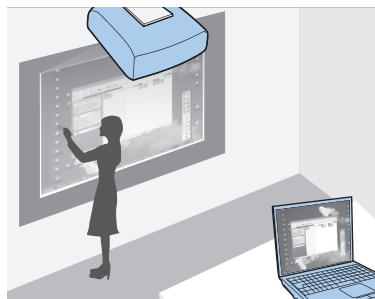
アノテーションモード

コンピューターなどから投写した資料に注釈を書き込みます。資料のポイントや補足を書き込んで、効果的なプレゼンテーションができます。



ホワイトボードモード

ホワイトボードのような無地の投写画面に描画できます。会議でホワイトボードの代わりに使用すると便利です。



マウス操作

投写画面でコンピューターを操作できます。コンピューターのマウスと同じように、クリックやドラッグ & ドロップなどができます。

目次

インタラクティブペンを使って操作する	6
描画する（アノテーションモード / ホワイトボードモード）	8
投写画面からコンピューターを操作する（マウス操作）	9

インタラクティブペンを使って操作する

インタラクティブペンは2種類あり、ペン側面のラベルの色が異なります（オレンジと青）。ラベルの色が異なるペンは、2本同時に使用できます。

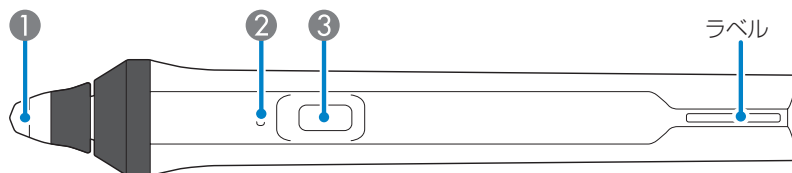
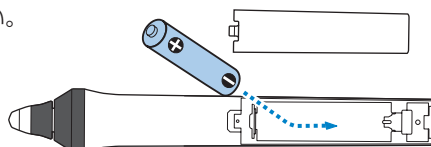
ペンを持つと電源が入ります。ペンを使い終わったら、投写画面から離れた場所に置いてください。

お使いになる前に電池（1本）をセットしてください。

交換用の電池は以下のいずれかを使用します。

- ・単3形マンガン乾電池
- ・単3形アルカリ乾電池
- ・eneloop® ※（BK-3MCC）

※ eneloop® はパナソニックグループの登録商標です。



① ペン先

交換できるソフトペン先です。

投写画面によってソフトペン先が使いづらいときは、ハードペン先に交換してください。

② バッテリーインジケータ

ペン側面にあるボタンを押したときに、電池残量をお知らせします。

- ・青色に点灯：電池残量は十分です。
- ・青色に点滅：電池残量が少なくなってきました。
- ・点灯しない：電池残量がありません。電池を交換してください。

③ ボタン

押すたびに、ペンの機能がペンと消しゴムで交互に切り替わります。ボタンの機能は[拡張設定]メニューの[ペンボタン動作]で変更できます。

マウス操作時に押すと、マウス操作の右クリックができます。

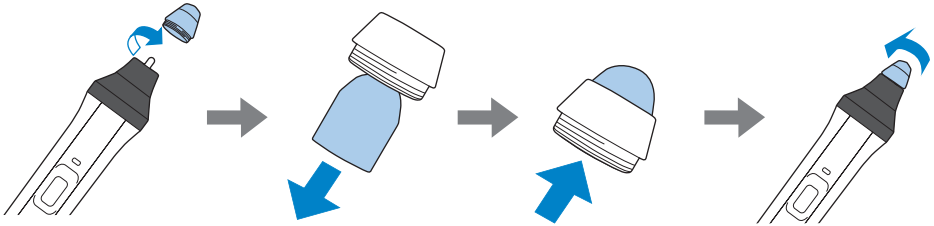
参考

- ・ペンを置くと15秒後に自動的に電源が切れます。ペンを持つと再び電源が入ります。
- ・ペン先の黒い部分を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。ペンが動作しないことがあります。

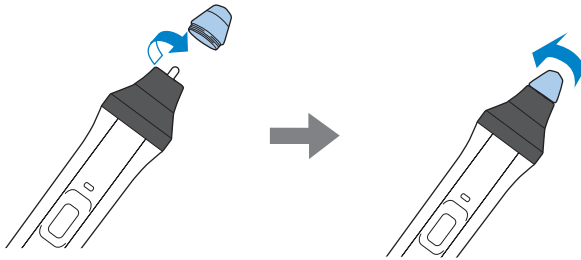
インタラクティブ機能を使う

お買い上げ時、インタラクティブペンにはソフトペン先が取り付けられています。

- ソフトペン先が汚れたり傷ついたりすると、インタラクティブペンの反応が悪くなります。
新しいソフトペン先と交換してください。

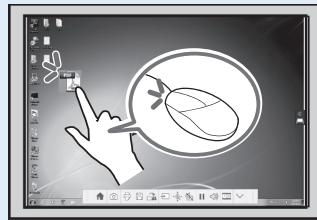
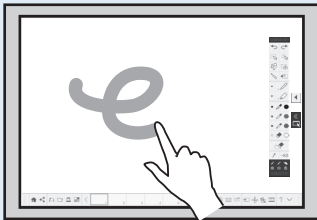


- 投写画面によってソフトペン先が使いづらいときは、ハードペン先と交換してください。



参考

タッチユニットを取り付けると、指を使って投写画面への描画や、マウス操作ができます（指タッチ操作）。詳しくは「設置工事説明書」をご覧ください。



描画する (アノテーションモード / ホワイトボードモード)

アノテーションモードでは、投写した資料にインタラクティブペンで文字や図形を自由に描画できます。

ホワイトボードモードでは、ホワイトボードのような無地の背景が投写され、その上にインタラクティブペンで文字や図形を描画できます。

1 インタラクティブペンを投写画面に近づけます。

投写画面にツールバータブが表示されます。インタラクティブペンを使って投写画面に書き込みできます。

2 [◀] または [▶] ツールバータブを押します。

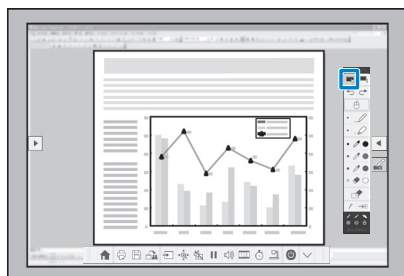
ツールバーが表示されます。

ツールバーの詳細は『取扱説明書』「インタラクティブ機能を活用する」をご覧ください。

3 ツールバーで各モードのアイコンを押します。

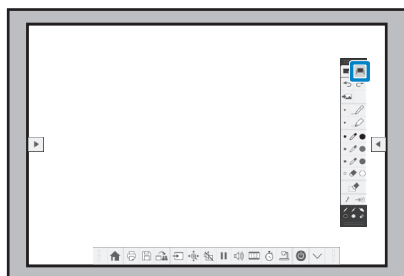
アノテーションモード：

[] を押すと、投写画面上に次のようなツールバーが表示されます。



ホワイトボードモード：

[] を押すと、次のようなホワイトボード画面とツールバーが表示されます。



投写画面からコンピューターを操作する (マウス操作)

USB ケーブルでコンピューターとプロジェクターを接続すると、投写画面上でコンピューターを操作できます。

参考

Mac をお使いの場合は、Easy Interactive Driver をインストールする必要があります。詳しくは『取扱説明書』「投写画面でコンピューターの操作を行う（マウス操作）」をご覧ください。

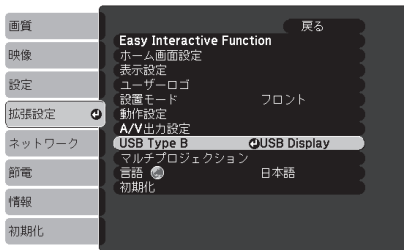
1 USB ケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続します。

参考

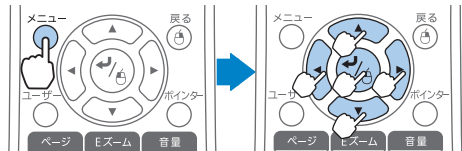
ネットワーク経由で投写している画面でマウス操作をするときは、USB ケーブルは不要です。

2 プロジェクターからコンピューターの映像を投写します。

3 [拡張設定] メニューで、[USB Type B] の設定をします。



リモコン操作



- USB ケーブルを使用して投写しているときは、[USB Display/Easy Interactive Function] に設定します。
- コンピューターケーブルや HDMI ケーブルを使用して投写しているときは、[Easy Interactive Function] に設定します。

参考

- ネットワーク経由で投写している画面でマウス操作をするときは、[USB Type B] の設定は不要です。
- マウス操作からアノテーションモードに切り替えるときは、以下のいずれかの方法で切り替えます。
 - リモコンの [ペンモード] ボタンを押す
 - ツールバーの [マウス] を押し、表示された [ペン] を選択する

?? 困ったときに

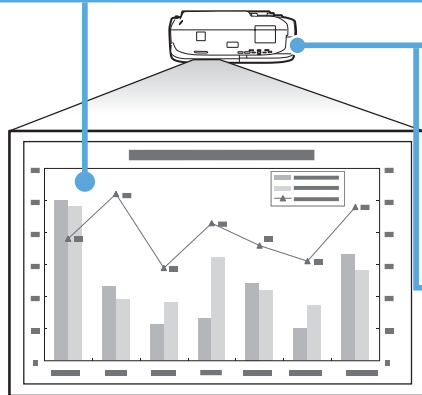
本機を使用中に起こりうるトラブルと、その対処法について説明しています。
トラブルが解決しないときは、裏表紙に記載の連絡先へご相談ください。

映像が写らない

以下のときにご覧ください。

- ・ 接続している機器の映像が写らない
- ・ 投写画面に「映像信号が入力されていません」などのメッセージが表示される

➡「映像が写らない」12 ページ



リモコンで操作できない

本機がリモコンでの操作に反応しないときや、リモコンを紛失したときにご覧ください。

➡「リモコンで操作できない」14 ページ

電源が入らない、予期せず切れる

本機の電源が入らないときや、使用中に電源が切れてしまうときにご覧ください。

➡「電源が入らない、予期せず切れる」11 ページ

インジケータの見方

本機の状態 (正常 / 異常 / 警告) を確認できます。

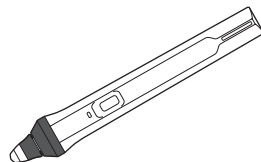
➡「インジケータの見方」19 ページ

インタラクティブペンがうまく使えない

以下のときにご覧ください。

- ・ インタラクティブペンが動作しない
- ・ インタラクティブペンで描画する位置がずれる

➡「インタラクティブペンがうまく使えない」16 ページ

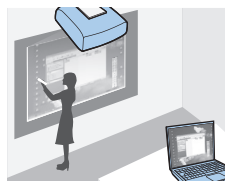


投写画面からコンピューターを操作できない

以下のときにご覧ください。

- ・ マウス操作がうまく反応しない
- ・ 意図した操作ができない

➡「投写画面からコンピューターを操作できない」17 ページ

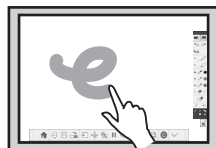


指タッチ操作がうまくできない

以下のときにご覧ください。

- ・ 指タッチ操作がうまく反応しない
- ・ 指で描画またはマウス操作する位置がずれる

➡「指タッチ操作がうまくできない」18 ページ



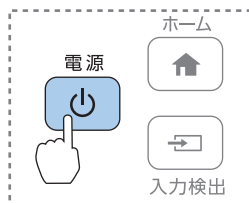
電源が入らない、予期せず切れる

Q. リモコンで操作を行っていますか？

はい

いいえ

操作パネルの電源ボタン【】を押して、電源が入るか確認します。



操作パネルを使って電源が入る場合は、以下のページでリモコンの動作をご確認ください。

➡「リモコンで操作できない」14 ページ

問題が解決しない場合

Q. 電源が入らなくなる直前まで、本機を長時間使用していましたか？

はい

いいえ

本機の内部温度が高温になっている可能性があります。

インジケータの状態をご確認ください。

➡「インジケータの見方」19 ページ

電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認して、再度電源を入れてください。

電源コードが正しく接続されていても電源が入らないときは、電源コードが故障している可能性があります。

電源コードを抜いて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご相談ください。

映像が写らない

Q. 以下の画面やメッセージが表示されていますか？

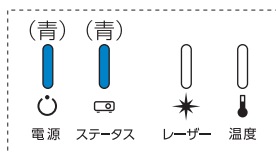
- ・ホーム画面
- ・青い画面
- ・「映像信号が入力されていません」などのメッセージ

はい

いいえ

プロジェクターの状態を確認する

- ・本機のインジケーターが以下の状態になっていることを確認します。



インジケーターの状態が上記と異なるときは、以下の手順に従って電源を入れ直してください。

➡「本機から映像を投写する」3 ページ

プロジェクターの電源が入らないときは、以下をご覧ください。

➡「電源が入らない、予期せず切れる」11 ページ

- ・リモコンの【A/V ミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。

問題が解決しない場合

プロジェクターの設定を確認する

- ・リモコンの【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- ・USB ケーブルのみでコンピューターと接続しているときは、[拡張設定] メニューで [USB Type B] を [USB Display/Easy Interactive Function] または [ワイヤレスマウス /USB Display] に設定します。

問題が解決しない場合

接続ケーブルの状態を確認する

- 必要なケーブル（電源コード、接続機器用のケーブル）がすべて接続されていることを確認します。
- すべてのケーブルのコネクターが、端子の奥までしっかり差さっていることを確認します。
- スイッチャーや AV アンプ、USB ハブなどを介して接続しているときは、本機と接続機器を直接接続してください。

問題が解決しない場合

接続機器の状態を確認する

機器の電源が入っていることを確認します。

必要場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。

ノート型コンピューターを接続しているとき

- コンピューターの出力設定を切り替えます。
➡「本機から映像を投写する」3 ページ
- 入力映像が黒一色でないことを確認します。
- コンピューターがスリープモードでないことを確認します。
- USB ケーブルで接続しているときは、コンピューターにドライバーが正しくインストールされていることを確認します。

問題が解決しない場合

すべて確認しても写らないときは

- 本機の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
➡「本機の電源を切る」4 ページ
➡「本機から映像を投写する」3 ページ
- 接続している機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- コンピューターを接続しているときは、コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。
詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

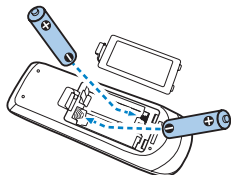
リモコンで操作できない

Q. リモコンはお手元にありますか？

はい

いいえ

- ・リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換してください。



- ・リモコンのボタンが押しこまれた状態になっているときは、ボタンを元の状態に戻してください。

リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

本機をお買い上げの販売店または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご相談ください。

問題が解決しない場合

Q. 本機からは映像が投写されていますか？

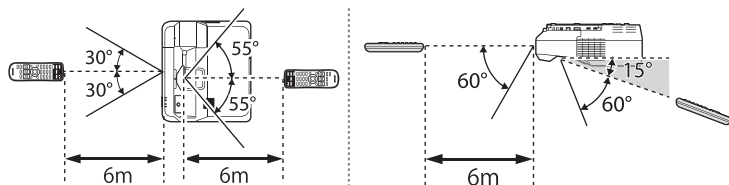
いいえ

本機がウォームアップ中またはシャットダウン中のときは、リモコンで操作ができません。本機の状態をご確認ください。

➡「インジケータの見方」
19 ページ

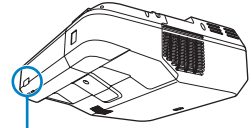
はい

受光可能範囲内でリモコンを使っていることを確認します。



問題が解決しない場合

リモコン受光部に強い光（蛍光灯の光、直射日光、赤外線機器の信号など）が当たっていないことを確認します。
リモコン受光部の周辺に強い光源があるときは、本機の設置位置を変更してください。

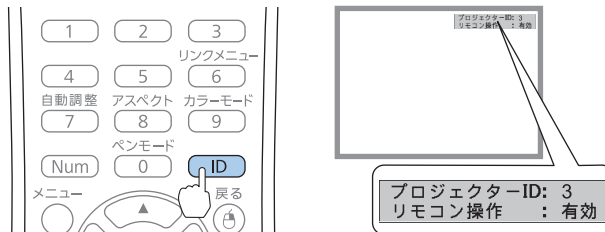


リモコン受光部

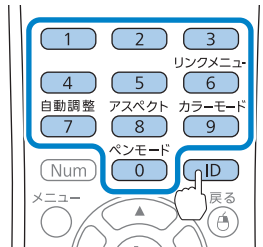
問題が解決しない場合

同じ部屋で複数台のプロジェクターを使っているときは、本機にプロジェクター ID が設定されている可能性があります。

リモコンの【ID】ボタンを押して、投写画面に表示される ID を確認します。



リモコンの【ID】ボタンを押しながら、投写画面に表示された ID と同じ番号のボタンを押します。



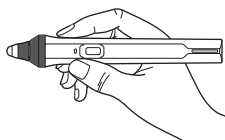
インタラクティブ機能が使えない

■ インタラクティブペンがうまく使えない

Q. ペン側面のボタンを押したときに、インジケーターが点灯しますか？

点灯する

- ペンの持ち方を確認します。
ペンの黒い部分を持っていると、
インタラクティブペンが正しく
動作しないことがあります。



- ペン先がすり減ったり汚れたりしているときは、新しいペン先に交換してください。

➡「インタラクティブペンを使って操作する」6 ページ

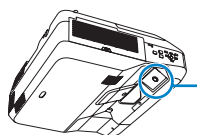
点滅する / 消灯したまま

インタラクティブペンの
電池残量が少ないまたは
無くなっています。
ペンの電池を交換してくだ
さい。

問題が解決しない場合

インタラクティブペン受光部や投写面の状態を確認します。

- ペンと受光部との間に、ケーブルなどの障害物がないこと
- 受光部にホコリや汚れがついていないこと
- 受光部や投写面に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たっていないこと



インタラクティブペン受光部

問題が解決しない場合

- 赤外線リモコン、赤外線マイクなど、赤外線を使う機器からの干渉がないか確認します。
- 同じ部屋で本機を 2 台以上使用しているときは、プロジェクター同士が干渉して、動作が不安定になることがあります。オプションのワイヤードリモコンケーブルでプロジェクター同士を接続してください。詳しくは、『取扱説明書』「複数台のプロジェクターを接続する」をご覧ください。

問題が解決しない場合

ペン位置を正しく認識させるため、ペン位置合わせを行ってください。詳しくは、『取扱説明書』「ペン位置合わせ」をご覧ください。

■ 投写画面からコンピューターを操作できない

Q.

本機とコンピューターを USB ケーブルで接続していますか？

はい

いいえ

投写画面からマウス操作を行うときは、
本機とコンピューターを USB ケーブルで
接続してください。

USB ケーブルが正しく接続されているか確認します。USB ケーブルを一度外し、再度接続してください。

問題が解決しない場合

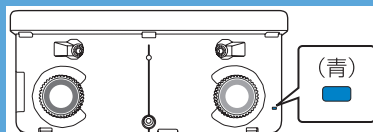
- ・ リモコンの【ペンモード】ボタンを押して、[ペンモード]を[マウス操作]に設定してください。



- ・ [拡張設定]メニューで [USB Type B] を [Easy Interactive Function] または [USB Display/Easy Interactive Function] に設定します。

■ 指タッチ操作がうまくできない

Q. 本機の電源が入っているときに、タッチユニットのインジケーターが点灯していますか？



はい

いいえ

タッチユニットの電源がオフになっているか、またはタッチユニットに電源が供給されていない可能性があります。詳しくは『設置工事説明書』をご覧ください。

赤外線リモコン、赤外線マイクなど、赤外線を使う機器からの干渉がないか確認します。

問題が解決しない場合

- ・ 投写画面の前や周囲（約 10cm 以内）に人が立っていたり障害物があったりすると、指タッチ操作がうまくできないことがあります。
- ・ 衣服の袖や身体の一部が投写画面に近づいたり接触したりすると、指タッチ操作がうまくできないことがあります。投写画面から 1 cm 以上離れてください。

問題が解決しない場合

リモコンの【ホーム】ボタンを押して表示されるホーム画面で [✱] を押して、[タッチ補正範囲] の設定を変更してみてください。

問題が解決しない場合

タッチユニットのレーザー照射口と投写画面の間に、ケーブル類やベントレイなどの障害物がないか確認します。投写画面の周囲に移動できない障害物があるときは、スクリーンに赤外線ディフレクターを取り付けます。詳しくは、『設置工事説明書』をご覧ください。

インジケータの見方

インジケータは、本機の状態をお知らせします。
以下の表でインジケータの色と状態を確認し、
必要な対処を行ってください。

 : 青色
  : 橙色

 : 点灯
  : 点滅

 : 消灯
  : 状態依存※

※エラーが起きたときのプロジェクター本体の状態によって、点灯、点滅、もしくは消灯しています。

■ 正常動作時のインジケータの状態

スタンバイ	ウォームアップ / シャットダウン	投写中
    電源 ステータス レーザー 温度	    電源 ステータス レーザー 温度	    電源 ステータス レーザー 温度
電源ボタン  を押すと投写を開始します。	電源ボタン  を押しても反応しません（約 30 秒）。	通常動作中です。

■ 異常 / 警告時のインジケータの状態

内部異常	ファン異常 / センサー異常	内部高温異常	高温警告
    電源 ステータス レーザー 温度	    電源 ステータス レーザー 温度	    電源 ステータス レーザー 温度	    電源 ステータス レーザー 温度
電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。		・ 壁側に設置しているときは場所を移動します。 ・ エアフィルターの清掃または交換をします。	
レーザー異常	レーザー警告		
    電源 ステータス レーザー 温度	    電源 ステータス レーザー 温度		
・ エアフィルター・排気口がふさがれていないか確認します。 ・ エアフィルターの清掃または交換をします。		ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。	
障害物検知異常	障害物検知警告		
    電源 ステータス レーザー 温度	    電源 ステータス レーザー 温度		
ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。		・ 投写窓付近に障害物がないか確認します。障害物があるときは取り除きます。 ・ 障害物がないときは、障害物検知センサーを掃除します。	

上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の連絡先へご相談ください。

お問い合わせ先

● プロジェクターインフォメーションセンター

製品の操作方法・お取扱等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

050-3155-7010

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969 へお問い合わせください。

● エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949 へお問い合わせください。

● エプソンのホームページ

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

<http://www.epson.jp>

FAQ

皆様からお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。

<http://www.epson.jp/faq/>

● 修理品送付・持ち込み依頼先

本機が故障したときは、お買い上げの販売店へお持ち込みいただくか、下記の修理センターまでご送付ください。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒 003-0021 札幌市白石区栄通 4-2-7 エプソンサービス (株)	011-805-2886
松本修理センター	〒 390-0863 松本市白板 2-4-14 エプソンサービス (株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒 689-1121 鳥取市南栄町 26-1 エプソンリペア (株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒 900-0027 那覇市山下町 5-21 ウイングビル 2F エプソンサービス (株)	098-852-1420

※ 修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。

※ 上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

- ・松本修理センター：0263-86-7660
- ・鳥取修理センター：0857-77-2202



413500600